

2023年1月31日

各位

株式会社三井住友銀行

SR Sホールディングス株式会社に「ESG/SDGs 評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、SR Sホールディングス株式会社（代表取締役執行役員社長：重里 政彦）に対し、「ESG/SDGs 評価融資」を実施いたしました。

「ESG/SDGs 評価融資」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が作成した独自の評価基準に基づき企業の ESG（※1）側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）（※2）達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただく融資商品です。

今回の SR Sホールディングス株式会社に対する評価結果は、「環境に配慮したサービスの提供」、「顧客に対する誠実さ」、「企業理念・サステナビリティへのコミットメント」において非常に高い水準であると判断されました。

企業経営において良好な ESG 側面の取組と情報開示を実施されており、また、事業を通じた SDGs 達成への貢献意欲をお持ちであるとの評価となりました。

ESG 側面の取組、情報開示では、以下の点等が評価されました。

- ① 食品ロス削減に向けて、店舗で仕入れる食材の小ロット化や廃棄物量のきめ細やかな管理、顧客を巻き込んだ食べ残し削減運動等を展開。また、気候変動への対応に向けて事業活動に伴う Scope1, 2 の CO2 排出量を把握。Scope1, 2 のエネルギー消費原単位を前年度比 99%とする削減目標を掲げ、高効率な厨房機器への入れ替え等の施策を進めておられる点
- ② BCP の策定・原材料の調達先の分散化・リスク管理委員会の定期的な開催など、製品・サービスの安定供給に向けた取り組みを実施。また、サプライチェーン全体で品質管理を徹底されていることを HP 上で開示しておられる点。
- ③ 社長を責任者とするサステナビリティ委員会を設置し、社会的課題の解決に向けてグループ横断的な体制を構築しておられることに加えて、統合レポート内にて経営トップ自ら、「食の社会インフラ」として事業活動を通じた社会的課題の解決に言及しておられる点。

加えて、事業を通じて、SDGs が示す「目標 12：つくる責任 つかう責任」「目標 7：エネルギー

をみんなに そしてクリーンに」等の達成に向けた意欲をお持ちです。

<ご参考>

※1 ESGとは

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

※2 SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことで

以 上